

地震・水害にあった地域では、以下注意点を参考にご対応頂き、必要に応じて弊社サービス員による点検を受けて下さい。

### 地震・水害発生時の注意点

#### 【全製品共通】

- 地震・水害発生時は、ただちに停止ボタンにて機械を停止し、速やかに身の安全確保に努めて下さい。

#### 【商業オフセット輪転機】

- ドライヤの運転停止確認後、ガスの元バルブを締め、速やかに身の安全確保に努めて下さい。

### ★地震・水害発生後

#### 運転開始前の注意点

#### 【全製品共通】

- 断線していないか？ケーブルを確認して下さい。→異常発見時は運転せず、弊社サービス員による点検を受けて下さい。
- 機械固定部でライナーのスレ、固定プレートのスレ、固定ボルトの浮き等がないか？  
フレーム間の連結梁や取付部品のボルト緩みによるガタはないか？を確認して下さい。  
→異常発見時は、運転できません。弊社サービス員による点検を受けて下さい。



フレームがズレている



固定ボルトが浮いている

- 機械内に、落下したものがいないか？確認の上、手回しにて機械が回るか？どうか？を確認して下さい。  
→手回しが出来ない時は無理に回さずに弊社サービス員による点検を受けて下さい。  
仮に通電状態が維持できるケースであったとしてもモータによる回転確認は絶対に行わないで下さい。

#### 冠水した場合の注意点

#### 【全製品共通】

- 駆動部が冠水してしまった場合、乳化によるオイル性能低下だけでなく、水と一緒に泥等の異物が混入した可能性もある為、オイルを抜き、清掃、フラッシング等の処置が必要です。  
→弊社サービス員による点検を受けるまで電源を入れないで下さい。  
手回しで機械を回転する事もしないで下さい。(細部に異物が入り込む可能性があります。)
- 電気部品(制御盤等)が冠水してしまった場合、ショートする危険がありますので絶対に電源を入れないで下さい。  
また、水と一緒に入った泥等の異物を除去しなければ、ショートする危険は残ったままです。  
弊社サービス員による点検を受けるまで電源を入れないで下さい。

#### 電源復旧の注意点

#### 【全製品共通】

- 必ず二次電源(機械側)が切れている事を確認して、一次電源(工場側)を入れて下さい。  
(必ず、一次電源⇒二次電源の順番で電源を入れて下さい。)  
電源復旧時に、二次電源を入れたままで一次電源を入れると突入サージで電気品の故障に繋がる恐れがあります。
- 電気品予備(基板類、定電圧電源装置、センサー装置等)をお持ちのお客様は、予防保全の観点から、予備品が正常に動作する事を予め確認しておく事をお勧め致します。

#### 運転時の注意点

#### 【全製品共通】

- 停止ボタンが機能するかどうか確認後に運転して下さい。
- メインモータと本機とを繋ぐベルトに緩みがないか？確認して下さい。  
→異常発見時は、適正テンションにまで再調整が必要ですので、弊社サービス員による点検を受けて下さい。
- 空転にて異音がないか？確認して下さい。まずは、低速で異音を確認し、徐々に回転を上げて下さい。  
→異音発生時には、運転を停止し弊社サービス員による点検を受けて下さい。

#### 【全製品共通】

- 紙が流れる、シワが入る等の異常がある場合は、機械の芯スレが考えられますので弊社サービス員による点検を受けて下さい。

※ご不明な点がございましたら最寄の弊社サービスセンターまで問合せ願います。